

消防だより



# 虹のマーチ

2013.11  
第26号

川越地区消防組合

## 川越地区消防組合設立40周年

平成25年4月1日に、設立40周年を迎えました。



ちびっ子消防士放水体験

### 消すまでは 心の警報 ONのまま

初期消火訓練(水消火器・バケツリレー)

消防局予防課  
消防局指揮統制課

Tel 2222-0744  
Tel 2226-7408

	月別火災件数	
	平成24年	平成25年
1月	14	9
2月	18	15
3月	8	22
4月	11	14
5月	4	23
6月	9	12
7月	11	9
8月	8	6
9月	11	3

**平成25年度 火災件数が増加**

平成20年から平成24年までの5年間の年間火災件数は100から120件で推移していましたが、今年は9月末現在で113件の火災が発生し、年間150件を超えるペースとなっています。

なかでも、最も被害が大きくなる建物火災が現在、火災原因を調査中のものも含め、54件発生しており、住民の安全、安心を脅かしています。

火災は一人一人の心がけて防ぐことができます。火災から尊い命、大切な財産を守るため、火災予防に対する意識を高め、火災の発生を未然に防ぎましょう。いつも心に『火の用心』をお願いします。

**平成25年度 全国統一防火標語**

『消すまでは 心の警報 ONのまま』

これからの季節少しずつ寒さがまし、また、空気が乾燥して火災が起りやすい季節を迎えます。恐ろしい火災の発生を防ぐため、11月9日から11月15日の間、全国一斉に『秋の全国火災予防運動』が実施されます。

平成24年中、全国ではおよそ四万四千件、当消防組合管内では113件の火災が発生しました。火災の内訳は建物火災が60件、車両火災が12件、その他火災（屋外のごみ屑や枯れ草等）が41件となっていて、火災全体の内、約半数以上が建物で発生しています。出火原因については、『放火の疑い』・『こんろ』・『たばこ』が上位を占めています。



秋の全国火災予防運動が始まります!!

11月9日～11月15日

川越地区消防組合



### たばこの管理はしっかりと!

たばこの火種は消し方を誤ると大変なことになります。指定された場所で喫煙し、灰皿には必ず水を入れてください!



### 建物の周囲はちゃんと整理しよう!

火災原因のトップは放火または放火の疑いです。死角になる場所はきちんと整理整頓し、夜のゴミ捨ては厳禁ですよ!



## ～火災を未然に防ぐため～



火災の原因は「放火の疑い」「たばこ」「こんろ」などが上位を占め、人の行為や過失によるものがほとんどです。逆に言えば、これらに気を付ければ火災を未然に防ぐことにつながると言えます。みなさんも「うっかり」を起こさないため普段の生活から火災予防にご協力ください!



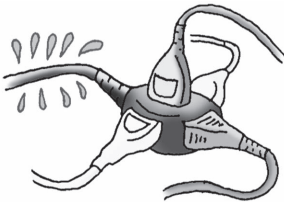
### 調理中は目を離さないで!

ちょっとくらい離れても…という油断が火事を呼びます。コンロから離れるときは必ず火を消しましょう!



### 電気も火災の原因になります!

便利な電気タップですが過剰に使用すると火事の原因になります。便利なものでも適正な使用方法を心掛けましょう!

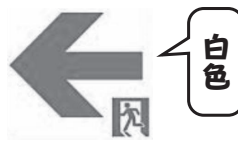


ひ、覚えてくださいね!  
消防局予防課 Tel 222-0744



避難口誘導灯

ですから万が一知らない場所で災害に巻き込まれても、仕組みを知っていれば、必ずお役に立ちます!  
みなさん、お出かけになったとき、誘導灯を探してみてください。「命を守るシンボル誘導灯」ぜひ、覚えてくださいね!



通路誘導灯

みなさん、百貨店や映画館などへお出かけになったとき、人の形の絵が描かれているランプを見たことがありますか?  
これは「誘導灯」と呼ばれるもので、火災・地震などが起きても逃げ道が分かるように、避難口まで案内しているものです。  
この誘導灯、実は色によって役割が決まっていることをご存知ですか?  
通路誘導灯は、白色の枠になっているのが特徴です。主に廊下、通路上に設置されているもので、避難経路の途中です、ということを知らせています。  
避難口誘導灯は、緑色の枠になっているのが特徴です。主に扉の上、階段の上に設置されているもので、その階の又はその部屋の最終口ですよ、ということを知らせています。  
誘導灯は安全な場所まで案内してくれる力強い味方です。



※ 誘導灯は停電になっても、最低20分間点灯するよう非常用バッテリーが付いています。



# 平成25年 秋の全国火災予防運動が始まります!!

実施期間

11月9日(土)~11月15日(金)



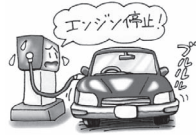
## 正しく安全に！セルフスタンドの給油方法

平成10年の消防法改正でガソリンスタンドのセルフサービスが認められてから10年以上が経ち、街で見かける多くのガソリンスタンドがセルフサービスに変わりました。

当消防組合管内でも、52カ所のガソリンスタンドのうち、28カ所がセルフスタンドとなり、より身近な存在になっています。

セルフスタンドは、各種の安全装置が設けられ、係員（監視者）による安全確認も行なわれておりますが、平成24年中、全国のガソリンスタンドでは火災が29件発生し、そのうち12件が給油する方の誤った取り扱いなどによるものでした。

そこで、みなさんに安全に給油を行っていただくために、重要な点をまとめてみました。



### ●給油中はエンジン停止！

ガソリンなどの危険物からは、とても引火性の高い蒸気が発生します。給油中は火災が発生する危険性が非常に高くなりますので、必ずエンジンを停止してください。

### ●静電気の除去は確実に！



これからの季節、装いも厚手のものに替わるとともに、空気の乾燥が進み、衣類の摩擦による静電気も増加します。静電気の火花は、給油中に火災を発生させる大きな原因のひとつです。給油の際は、必ず計量機に設置されている静電気除去シートに触れ、静電気による火災を防止しましょう。

### ●吹きこぼれにご注意！

セルフスタンドの計量機には、燃料タンクが一杯になると給油が自動的に止まる自動停止装置がついています。しかし、少ない流量で給油した場合や、給油ノズルを奥まで差し込まないで給油した場合は、自動停止装置が作動しないことがあり、ガソリンなどの吹きこぼれが起きてしまう可能性があります。

給油ノズルは奥まで差し込み、ノズルのレバーをしっかりと握って、吹きこぼれが起きないように給油しましょう。

当消防組合管内でも、52カ所のガソリンスタンドのうち、28カ所がセルフスタンドとなり、より身近な存在になっています。

セルフスタンドを利用する際は、正しい給油作業を心がけ、火災などの事故が起きないように安全に給油を行いましょ！

消防局予防課 Tel 222-0744

## 救急隊員手話研修会

平成25年6月29日(土)及び7月6日(土)に消防局において、「川越市手輪の会」の3名の会員の方を講師とし、救急隊員を対象とした手話研修会を開催しました。

この研修会は、聴覚に障害をお持ちの方の救急活動時に、これまで災害現場で行っていた筆談に加えて、手話を用いてよりコミュニケーションを図れることを目的として行ったものです。



研修会では、聴覚障害者の体験談を含め、災害現場で活用できる用語を含んだ手話の基礎知識を

学び、手や指の動きの他に、口の動きや顔の表情も意思を伝える大切な技術であることを再認識しました。

災害現場で、障害者の方の心の声が聞こえるように、今後も継続して手話を含めた救急隊員の研修を開催していき、救急活動又は応急手当の普及活動を充実させていきます。

消防局救急課 Tel 222-0160

## FAX119システム

当消防組合では、耳や声の不自由な方や肉声による通報が困難な方が利用できるFAXでの119番を受け付けています。通報者は、通報用紙に住所や氏名等を記入してFAXをするだけで通報内容を伝えることができます。ただし、次の内容を必ず記載してから送信してください。

### 火災

- ・消防車が向かう場所
- ・内容 何が燃えているか等
- ・あなたの氏名、FAX番号

### 救急

- ・救急車が向かう場所
- ・救急車を必要としている方の年齢及び性別
- ・内容 誰がどうしたか等

消防車や救急車が向かう場所、氏名、FAX番号をあらかじめ記入しておく、いざというときに役立ちます。

※FAX用紙は、川越地区消防組合のホームページからダウンロードできます。

消防局指揮統制課 Tel 226-7408

119番通報のフローチャート



全国消防救助技術大会で入賞!!



8月22日に広島県で第42回全国消防救助技術大会が開催され、消防組合からは、埼玉県代表として「陸上の部」のロープブリッジ渡過に尼崎隊員(川島消防署)・はしご登はん(新井隊員(川越中

央消防署大東分署)が出席しました。

この大会は、救助技術に必要な基本的要素、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うことなどを目的として行われ、当日は、地区大会を勝ち抜いた消防職員が救助技術を競いました。

尼崎・新井両隊員は、日頃の成果を十分に発揮し、二人とも入賞を果たしました。

今後さらなる技術向上を目指し、住民の安全・安心を守っていきます。

消防局警防課 Tel 222-5891

埼玉県警機動隊と合同訓練を実施

当消防組合では、埼玉県警機動隊の依頼により、合同訓練を川島消防署で毎月一回実施しています。今後も災害に備えて、警察との連携強化に努め、安全で安心なまちづくりを目指します。



消防局警防課 Tel 222-5891

平成25年度甲種防火管理新規講習

消防法施行令第3条第1項に定める甲種防火管理新規講習を次のとおり開催します。

日程 平成25年11月27日(水)・28日(木)の2日間 午前9時から午後4時

会場 川越市神明町48番地4

消防局庁舎3階講堂

経費 教材費 三千四百円

定員 先着80名

申込日 平成25年11月15日 午前10時から

消防局・消防署・分署にて配布している申込書に必要事項を記入し写真(縦4×横3cm)を貼り付け、経費を添えて消防局予防課まで申し込みください。

※電話、郵送での申し込みは行っていません。

※申込書は消防組合ホームページからでもダウンロードできます。

※駐車場がありませんので、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

消防局予防課 Tel 222-0744

消防特別点検でサイレンを鳴らします

11月10日(日)、中央防災基地(川島町大字上

猪)で消防特別点検が実施されます。

当日の午前8時30分にサイレンが鳴ります。火災などの災害と間違えることのないようお願いいたします。

消防局総務課 Tel 222-0741

平成26年消防出初式

○川越市 日程 平成26年1月12日(日) 会場 川越市役所(予定)

○川島町 日程 平成26年1月11日(土) 会場 川島消防署

消防局総務課 Tel 222-0741

ありがとうございます

○救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

◎救急活動協力に貢献

・東松山市大字石橋 梶原貴宏さん

○消防部隊の支援資器材の寄贈に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

・川越市大字山田 齋藤誠さん

消防局総務課 Tel 222-0741

虹色通信 ~出初式の由来~

江戸時代の1659年1月4日に上野東照宮で行われたのが始まりと伝えられています。江戸時代に明暦の大火で多くの犠牲者を出した幕府は定火消という消防組織を制度化しました。その定火消が上野東照宮に集結し、氣勢をあげたことが「出初」と呼ばれ、次第に儀式として定着していきました。また、現消防組合の前身である川越消防本部では、その沿革史に昭和25年1月6日に「宿望の出初式挙行・・・」とあり、消防署前から消防車を6台連ねて行進し、赤間川に一齐放水を行ったのが初めてとされています。現在では、木遣り歌・はしご乗りの伝統の技や消防職団員による演習のほか、各地域の文化を取り込みながら、当時の火消しの心意気を後世に残すため、全国各地で行われています。



消防局総務課 Tel 222-0741



消防だより

虹のマーチ

2013.11 第26号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 Tel 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/